

効果の上がる勉強の方法

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 開倫塾の塾長の林明夫です。今日も開倫塾の時間をお聞き頂きありがとうございます。
今日は12月24日土曜日、クリスマス・イブです。メリークリスマス。放送をお聞きの皆様は楽しいクリスマスをお過ごしになられますようお祈りいたします。
2. さて、この開倫塾の時間は、受験生の皆様はじめ社会人の皆様も含め効果の上がる勉強の方法をお伝えすることを社会的使命、ミッションとする番組ですので、年の暮れの本日は年末の勉強の仕方をお話いたします。
3. 私がお勧めしたい年末の勉強の仕方は2つあります。1つは新聞をよく読むことです。これから年末の12月31日までの1週間、新聞各紙は2016年はどうのような年であったかについての大特集を組みますので、1ページから最後のページまでなめるようにお読みになり、2016年の今年1年を振り返ることです。
4. 夏のはじめころにはイギリスのEU離脱の国民投票、11月にはアメリカ大統領選挙でトランプ氏が当選したこと、12月のつい先週はロシアのプーチン大統領が来日したことなど、いろいろな出来事がありました。12月31日まで新聞をよく読み、今年1年の流れを冷静にみて、それらが日本にとり、世界にとり、また、我々の生活にとってどのような意味をもっているのかよくお考えになることが大事です。
5. 私が一番関心があったのは、日本政府が主催し3年ごとに開催している第6回目のアフリカ開発会議(TICAD VI、ティカット・シックス)が本年はアフリカ、ケニアのナイロビで開催され、安倍首相がアフリカの開発支援として1000万人ものアフリカの人材育成を宣言したことです。私は、アフリカから日本への留学生が余りに少ないので、開倫塾がアフリカに日本語学校をつくり、日本への留学生をもっと増やせるお手伝いをしようと考えました。
6. 年末にお勧めしたいもう一つの勉強は、今年読んだ本で読みかけの本を、年末の12月31日までに少しでも読み終えることです。全部読み終えた人は、12月31日までにもう一回読んでみることをお勧めします。
7. 私は、江戸時代の京都の呉服商人で45歳のときに仕事を辞めて、月謝は無料、紹介者は不要で誰でも歓迎の私塾を開いた石田梅岩ぼいがんが自らの教えを弟子たちとともにまとめた「都鄙問答」という本を岩波文庫で昨年からずっと読んでいました。漢文が入ったりしてなかなか全部の意味はわから

なかったのですが、11月になってその現代語訳が「知致出版」から「いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ」として出されたのを、国際会議で札幌に出掛けた際にジュンク堂という書店で見つけ、以来、岩波文庫とつき合わせて読んでいます。ようやく三分の二くらいまで読み終わったので、12月31日までに読み終えたいなと思います。

8. このように、読み始めたけれどもまだ読み終わっていない本に挑戦することも、年末のよい勉強になります。

9. 今日の開倫塾の時間では、12月31日までの勉強の方法をお話させて頂きました。それでは楽しいクリスマスをお過ごしください。メリークリスマス。

— 2016年12月19日(月) —